

第36号 2006.8.20

高知県立幡多けいみん病院発行

〒788-0785

宿毛市山奈町芳奈3-1

TEL (0880)66-2222(代)

http://www.pref.kochi.jp/~hata

病院ニュース

# News Letter

## 病気ひとくちメモ

### 突き指

「たかが突き指、されど突き指」



整形外科 小松 誠

突き指は、日常よく見られる指の外傷の総称のひとつです。スポーツ、特にボールを使った競技などで発生します。

突き指の中には、骨折や腱・靭帯損傷、亜脱臼が紛れ込んでおり、レントゲン検査などを用いた医師の診察が必要です。

突き指をしたら、まず冷却をしましょう。最近ではスポーツの現場で氷や冷却用のジェルなどを準備することが普及されてきています。そして、無理やりに引っ張ったりしないで、整形外科を受診しましょう。骨折や靭帯損傷がなければ、ひと安心です。しかし、何らかの異常が見えれば、それに対する処置が必要になります。

こういった外傷というのは、早期であれば治療もしやすく、あとあとの後遺症も少なく済むものです。これを、日数がたつてから受診して診断がついたと

しても、上手に治療できない場合があります。

週末の楽しいはずのスポーツ活動を、後悔に換えないためにも、突き指をしたら少なくとも休日明けには整形外科の受診をお勧めします。



## 部署だより

### 放射線室 部署紹介

放射線室

放射線室は、放射線技師12名、放射線科医師2名、放射線科助手2名、放射線科担当看護師8名、以上24名にて運用されています。

放射線部門は1階と2階にわかれており、1階にMRI、RI (核医学診断装置)、RT (放射線治療装置)、結石破碎装置、旧CTを装備し、2階には、CT、MRI、ANGIO (血管造影装置) 2台、X-T V (X線透視装置) 2台、一般撮影装置3台、乳房撮影装置、パノラマ撮影装置、骨塩定量装置を備えており、各装置担当者が、運用しています。各装置担当者を紹介します。





当院の場合、一般に、特殊検査と呼ばれる検査については、予約検査が基本となっています。予約検査が基本となつていますが、予約検査以外の、当日飛び込み検査、及び救急検査が多く、予約患者さまにお待ちいただくことがあります。装置担当者ができるだけの対応はさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

### くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さまへのサービスの向上を目的として活動しています。

### 盗難に注意！



4月以降院内で多発していた盗難事件は、警察のご協力もあり、最近は発生件数が減って落ちついてきました。ですが、油断することなく、再発防止を常に心がけていくことが大切です。患者さまから、「外来待合室の血圧計や荷物カゴの置き場所を考える必要があるのではないか」とのご意見もいただき、8月の委員会では、血圧測定時を狙った置き引き対策について検討しました。

長椅子の向きの変更、照明の設置などいくつかの案が出ましたが、血圧計と荷物カゴの配置を工夫し、血圧測定患者さまの目が荷物から離れにくい配置へと変更しました。今後も病院全体で盗難防止に努めてまいります。貴重品の管理にはくれぐれもご注意ください。

### ご意見の集計

分類	18/7月
病院運営、経営について	3
施設、療養生活について	2
待ち時間について	2
接遇について	4
感謝、お褒め	0
事務手続きについて	2
合計	13

### アツサローム アライクム②

—ウズベク語で—こんにちは—  
東 朝子

(東さんは、今年の4月まで当院で勤務し、現在は青年海外協力隊員として、中央アジアのウズベキスタンで活動中です)

高知のみなさん、暑い夏を過ごしていらっしゃいますか？

ウズベキスタンも日中の気温は38度。乾燥しているので几分か低く感じるとはいえ、外に出ると汗だくです。

今回は任地での活動について紹介します。

わたしの配属先は国内最大の救急医療センターで、名前はタシケント救急医療センターといっています。



ベッド数は760床、医師50名、看護師600名(実のところはもう少し少ないようですが)が働いています。この中で看護師のレベルアップをはかるためのセミナーを行ってほしいというのが配属先からの要請です。青年海外協力隊看護師隊員は、わたしで3代目ですが、他にもJICA(独立行政法人国際協力機構)専門家が入っていたり、日本の大学と提携を結んでいたりして、ウズベキスタンにおけるモデル病院となっています。

現在は病院の仕組み、設備、看護師の関わり方等について知るべく、院内のいろんな部署を1ヶ月単位で回っています。今月は救急集中処置室です。日勤は8時から14時まで。夜勤は14時から翌朝8時までという

ローテーションで、すが、わたしたしは昼間だけ働いています。

救急集中処置室には、日に

よってバラつきはありますが、だいたい2〜8人くらいの患者さんが運ばれてきます。

固定のベッドが2台あるほか、モニター、人工呼吸器、除細動器、救急カートなどが置かれています。けんみん病院で言うと、救急室ですね。患者さんは玄関で病院のストレッチャーに乗り換えて運ばれてきます。

日本でのわたしの職場は救急隊からの電話をもとに、どんな患者さんがくるのかを予測して、カルテの準備、スタッフの手配、処置室の準備などを行っています。救急車が到着したときは、救急隊と話をして患者さんについて情報を集めていました。日本はたぶんどこの病院もそうだと思います。

ここでの救急車は音もなく、また電話もなくやってくるので、日本でのように予測して動くこ



とができません。ストレッチャーが入ってきた瞬間に病状を推測して動かないといけません。スタッフの判断力が強く求められる職場だと思います。

救急車で来られる患者さんのなかで一番多いのは、交通事故で、次は不整脈、心筋梗塞、狭心症など心臓の病気。塩分や油の多い食生活のためでしょうか。かなり痩せた（るいそうと言います）ホームレスを警察官が見つけて運んでくることもあります。救急車ではなく自家用車で来た重症の患者さんも、ここで処置をしています。

日本からの無償機材も沢山あり、救急隊とのカンファレンスも定期的に行なっているようです。また、スタッフの数もかなり充実しているので、この病院にはハード面だけでなくソフト面での活動がかなり重要と言えそうです。

まだまだ様子見学のみで学生とあまり変わらない行動ですが、ア



ンテナを張っていろいろと思います。



検査室から

脳波検査とは脳の働きを調べる検査です。脳は絶えず活動を出しています。小さな電気信号を出しています。頭皮につけた電極からその信号を取り出して記録します。この脳波検査によって記録された波形から、脳に関する病気の診断をしたり、治療の効果を確認したりします。

検査に要する時間は約三十分から一時間で、検査内容によって前後します。基本的には検査に伴う苦痛はほとんどなく、じつとベッドに寝ていただただけです。

小児脳波では脳波室での“お昼寝”が必要です。起きているところからウトウトしながら眠っ

たところまでの記録が必要となります。検査当日は少し早めに朝起こして、病院へ来るまでの車の中で眠らないようにしておいでください。小さいお子様の検査の場合は、ご家族のご協力がとても重要となります。

成人脳波の場合は特に睡眠は必要としませんが、眠くなればいつでも眠っていただいてもかまいません。この他に開閉眼、過呼吸、光刺激などにより異常波を誘発したりする方法が加わります。

脳波検査は予約制となっております。ご質問があればお気軽に臨床検査技師にお尋ねください。

休診のお知らせ

9月、10月の休診日は次のとおりです。

診療科	日付
耳鼻咽喉科	9/1(金)
皮膚科	9/15(金)
精神科	9/1(金)
神経内科	10/6(金)

## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

### からだにやさしい食生活

#### 夏ハテ回復

栄養科

暑い日が続き、外に出るのを面倒に感じてしまいます。しかし、クーラーの効いた涼しい部屋で過ごすことに慣れてしまっただけで、からだの疲れも溜まりやすく夏バテを引き起こします。

一日の中で食事、運動、休養を適切にとることが大切です。食事では、規則正しい食事時間にしましょう。冷たい炭酸飲料やアルコール飲料は控えめにしましょう。喉が渇くからといって飲み過ぎては、胃に負担をかけ下痢にも繋がります。

そうめんやそば等のめん類では偏った食事になります。旬の魚や夏野菜、果物などを取り入れて栄養素のバランスを整えましょう。また、食欲が無い場合には、酸味や香辛料で食欲を引き出すのがよいでしょう。ただし、胃腸に障害がある方は使う量に注意して下さい。

食事が少なくなるとは夏の暑さに体が疲れているサインです。少し生活に変化を起こして、本来の体の元気を取り戻しましょう！

### 研修予定

患者様向け

9月5日（火）糖尿病教室

（内容）日常生活の注意点②

（食事の基本）：興味のある方はお気軽にご参加ください

9月19日（火）糖尿病教室

（内容）検査と治療目標/食品交換表）：興味のある方はお気軽にご参加ください

病院職員向け

9月4日（月）ACLS研修

9月5日（火）緩和ケアカンファレンス

9月12日（火）感染対策研修

9月14日（木）NST委員会

9月19日（火）ACLS研修

9月19日（火）緩和ケアカンファレンス

9月25日（月）MCカンファレンス

9月26日（火）感染対策研修

9月28日（木）NST委員会



## 7月の統計

外来患者数	15,610人
新外来患者数	2,634人
紹介患者数	390人
新入院患者数	536人
退院患者数	525人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1583人
手術件数	178件

## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。